

平面作品 マイ・アート(抽象画)

年組	番号	コメント
6年2組	1	僕の作品はサツマイモの成長をイメージしました。特にイメージしたところは、サツマイモの実の色です。工夫したところは、最初にサツマイモの葉っぱとサツマイモの皮、サツマイモの実、最後に紫色の花を描きました。そのことでサツマイモの成長をイメージしました。
6年2組	2	頑張ったところは宇宙人の部分です。宇宙人の一つ一つの表情を考えるとこを頑張りました。工夫したところは3つあります。1つ目は真ん中の宇宙人の周りです。まわりを黒いクレヨンの粉で色をつけたところです。2つ目に工夫したところは真ん中の宇宙人の周りに宇宙人を描いたところです。3つ目は周りにある四角い線に模様のようなものを描くところを工夫しました。
6年2組	3	平面作品で頑張ったところ・工夫したところはいろんな色を自分で作って、全部違う場所・違う形で色を塗りました。「宇宙の未来」という題名にした理由は、鮮やかな色で塗ったのがすごくきれいで、銀河のような感じになったので「宇宙の未来」という題名にしました。
6年2組	4	この作品は、音楽をイメージして作りました。絵は音楽にある、複雑な音を絵の具を垂らしたりちょっとずつつけたりして、右下は華やかで左上は穏やかさを表現しました。あと、2つの角度のキーボードはこの2つの色の境界線のようにして、音楽の移り変わりを表現しました。
6年2組	5	パステルカラーにしたことで、優しい感じになっていたけれど普通の色も入れたかったので緑や青といった自然の色を入れました。自然をイメージして作っていたけれどやっていくうちにスライムに似ているなど思ったので、途中からスライムを題材にした物を作りました。のりを使ってスライムのような透明に色が入っているものができてよかったです。
6年2組	6	工夫したところは、水を入れてじゅくじゅくさせたり、何度も厚塗りをしたところや同じ向きに線を書いたところです。明るい色と水色のバランスをとるのが難しかったです。明るい色は、赤色やオレンジ色、黄色で、できるだけ同じ色を使ったのも工夫の一つです。
6年2組	7	私の作品は都市の夜空をテーマにして作りました。始めは小さな町なみにしようとしたのですが、少し美しさがなく単純だなと思ったので都市はサブにして、好きな夜空をメインにしました。夜空は青と黒を何重にも重ね塗りして、黄色い星は真ん中に液を垂らして丸くしました。
6年2組	8	私がこのテーマにした理由は明るい色がたくさんいろんな所に散りばめてあり、感情が爆発したように見えたのでこのテーマにしました。よく見ると色のついたツブツブのものが所々に散りばめてあり、そこは感情が少し落ち着いたように見えます。また、絵の具が混ざり虹のような色になっています。そこには、ワクワクした感じや楽しみ！というような感情があるように見えるので注目して見てください。
6年2組	9	最初はどのようなテーマで作品を作ろうか迷いました。作っていくうちに、僕はサッカーが好きなのでサッカーをテーマにしようと思いました。この作品で工夫したところは、インクを上から垂らしてサッカーコートを作るなど工夫しました。その中でも1番工夫したところは、ブラシで1回転させて大きな丸を作ったことです。
6年2組	10	平面作品は、最初はイメージが固まりませんでした。そこから自分の好きなもの・ことからイメージしていき、真ん中に自分の好きなあじさいを描きました。あじさいはこの作品のメインなので、大きく立体的にこだわって描きました。また、まわりには梅雨をイメージした色を使いました。奥に重なっている緑色の場所にも力を入れました。色の重なりを意識しました。
6年2組	11	この作品は、色々な思いや考えが混ざり合っているのを表現した絵です。私自身、色々なことによく迷ったりすることがあるので、そのときの自分の心を表しました。また、題名を混ざり合う心としたのは、いくつかの考えがありそれがまとまってきた様子を描いたのでそうしました。

6年2組	12	平面作品では、最初の頃はあまり考えをもたずにやっていたけれど、途中からどんどん案が出てきました。絵は、荒れていないように見えるけれど、表現では川が荒れているのをイメージしました。荒れた雲は今にも落ちそうな雷をイメージしており、危険な感じと危ないとこは色を濃くしました。
6年2組	13	ぼくが、作ったテーマは、壊滅の世界です。理由は、色々な色で塗りつぶして壊滅してるように見えたので壊滅の世界にしました。頑張ったことは、色々な色の組み合わせを考えたことと、ぐちゃぐちゃではなくてしっかりと破滅らしくしたかったので色々な色を使い工夫したことです。
6年2組	14	僕は練習の時に暗い色をたくさん使ったら、少し暗くなってしまったので明るいイメージを出すために、黄色などをベースにした色を作りました。また、雨が降ったら虹が出るというコンセプトで頑張りました。また、虹を斜めから見ているように色を塗りました。
6年2組	15	なるべく色鮮やかにするようにして、花の模様以外を縦に塗るようにしました。色がたまに混ざってしまう事があってそれが混ざって、変な色にならないように違う黄色などで直すのが大変でした。あと、端のほうの色を付けすぎてしまいピンク色などで調節するのが大変でした。
6年2組	16	作っていくときに最初の方は、何もイメージがわからなくて色や形を描いているだけでしたが、何か色と形の繋がりを表せたらいいなと思い、この題名にしました。一度壊れてしまい、一から作り直しましたが納得のいく作品を作ることができました。そして、やってみたら、のりと色の配分や具合が難しいと思いました。しかし、だんだん慣れてきて、最後の方にはしっかりと使えるようになりました。
6年2組	17	この作品の頑張ったところや工夫したところは、輪という作品名なので作品の中心に輪を繋げた複雑な形を描いたところです。なぜ複雑にしたかということ、皆の気持ちがあつかり合うからです。学校にいと友達と喧嘩をしてしまうことがありますそれは皆の気持ちがあつかり合っているからだと思います。6年2組もすぐ皆の思いが1つになることがまだできませんが、卒業までには皆の思いがすぐ1つになればこの複雑な輪もきれいな輪になることができると思います。
6年2組	18	この作品は、休日にだらだらしている感じを表した作品です。絵の具が垂れているのはのんびりしているのをイメージしています。ピンクやオレンジの絵の具が中心の作品ですが、差し色として水色を入れているところが注目してほしいポイントです。背景の白色がきっちり塗られていないのもだらだらのんびり自分のペースで物事を進めている感じでお気に入りのポイントです。
6年2組	19	赤系の同系色をたくさん使って明るい雰囲気を作りました。工夫したところは土を入れてデコボコな凹凸を作ったところです。苦労したところは、土がボロボロ落ちてこないように上から絵の具を重ね塗りしたこと。違う色を塗ってしまうと色が混ざって違う色になってしまうので大変でした。
6年2組	20	最初は、好きな色ばかりでやっていましたが、本番の紙で自分でも納得のいく作品が仕上がりました。また、テーマを決めずに作っていたので工夫がなく困っていたけれど、友達などにアドバイスをもらい、絵の具の色合わせを考えていい作品になったのでよかったです。さらに、流れているように見える部分があるので注目してください。
6年2組	21	自分が最初作ったときはテーマを考えずに作ったけれど、作っていくうちにどんどんアイデアが浮かんできたのでそれをもとに描きました。自分がこの絵で注目してほしいところはカラフルな円です。この円は最初色を統一していたのですが、インクをこぼしてしまったときに色とりどりの色があったほうが良いのではないかと思ったのでカラフルにしました。
6年2組	22	最初はテーマとか何も考えずにボンドや色々な材料を混ぜて適当に作っていたけれど、何も考えずに混ぜたり塗ったりしていたらきれいな色が作れて、テーマもどんどん思いつきました。同じ班の友達や色々な人の作品を見たり感想を言い合ったりして、筆の使い方を工夫して細い線やとびつた感じの線などを描けてとても楽しかったです。
6年2組	23	この作品の見どころは、3つあります。1つ目は、受験や勉強に縛られることを描く鎖です。本物の鎖を見たことはないの半分想像で描いていますが、思いの外うまく描けました。2つ目は、鎖の下にたくさんある青紫色の線です。これは、迷いを表しています。こちらは勉強

		関係ではなく将来の夢が一向に決まらないことを表していて青紫の線の中に光を表す黄色が幾筋かあることもポイントです。3つ目は、真ん中にあるオレンジの上にまた青紫がかかっているところです。これは、一応自由を望む心とそれを押さえつける不自由です。更に、その心が潰れて無くならないように立体にして固くしているところも工夫しました。
6年2組	24	ポコポコさせて海の波を表しました。ここでこだわったのは向きを同じにしなから少しバラバラにしたところです。ポコポコで海を表しました。他には少し白を混ぜて色々な海の様子を表しました。あとポコポコの海にした意味は僕が海が好きだからこの作品を作った良かったです。
6年2組	25	この作品で注目してもらいたいところは、たくさんついている点々みたいなのが流星の雨みたいに見えるところです。がんばったところは点々をたくさんつけていたところです。
6年2組	26	大爆発をイメージしました。最初は爆発するように見せるのがむずかしかったけれど、やっているうちになんとなくわかってきました。筆をわざとふって飛び散らせたり、色を色々混ぜ合わせたりしてオリジナルの色で作りました。僕は色を作るのが一番大変だったと思います。
6年2組	27	海を表すために水色を多くつけ、自然に見せるために、絵の具を飛び散らせ、最後に魚を描きました。描いているときはどうやって海を表現してよいか分からず困っていましたが、絵の具を飛び散らせ、下の方に絵の具を垂らして逆さにするとクリームみたいに絵の具が垂れることに気が付きました。最後に上下に作って海を完成させました。色々な色を使い、パーティーを表しました。
6年2組	28	この作品は、特に何も考えてはいなかったけれど、描いていくうちにだんだんカラフルで楽しそうに見えてきて、明るい色をたくさん垂らしました。たくさんしてみると垂らし方にも大きいのと小さいとでわけたり、力強く筆で描いたりするなど描き方にも工夫をしました。
6年2組	29	この作品は最初は絵の具をまく感じで適当に描いていましたが、作品を眺めていたら、緑色の部分が竜巻に見えてきて、それと同時にいろいろな色が地球の環境汚染を表しているということを感じました。だから、人類がずっとこのまま地球温暖化に対する対策を施さなければ将来こうなってしまうということを訴えるために作りました。
6年2組	30	この作品は中心になるに連れて、色が黒くなっていく心の黒い部分みたいなものを表しています。なにかに挑戦しようとしていても、ネガティブな感情が心にあるという人の心の中がこの作品です。黒い部分の外側が少し明るい色になっているという所にも注目してほしいです。
6年2組	31	この作品は、自分の好きなものを書いてその好きなものを行っているときの気持ちを描いてみました。この作品で自分が表したいと思った気持ちは、「楽しい」です。真ん中に薄っすらと描いてあるのは、ギターです。習い事でギターをやっているときに楽しい！となることでギターとの一体感が生まれ、ギターも楽しそうな音がするため、このような作品にしました。
6年2組	32	僕は平面の作品を作るときに、あまりテーマが思いつきませんでした。最初の練習のときは適当に描きましたが、掃除のときに雑巾を洗うときにみずが飛び散ってしまい、そこからアイデアがうまれました。水しぶきが結構芸術っぽかったので、水しぶきを描くことにしました。色も自分が好きな水色や青にして、そして最終的にはいい感じの作品ができあがりました。
6年2組	33	この作品は、穏やかな心の中を表した作品です。この作品の頑張ったところは、きれいになる色の組み合わせを重ねて、立体感を出したことです。ピンクをベースにして、紫はどうか、黄色はどうか、と考えながら作りました。色とりどりの花は、それぞれの個性を表現しています。
6年2組	34	僕は図工の平面作品で、アイスという題名を考え、絵を作りました。そうしたら友達が「色使いがよく、色々な絵の具をつかっていて、とてもきれいだね。」と言ってくれて嬉しかったです。先生たちにも色々お手伝っていただきました。作品がきれいにできてよかったです。
6年2組	35	私は、オシャレで不思議なお花をイメージして作りました。絵の具を垂らすところで、最初は綺麗に垂らすことができなくて悲しかったけれど、やっているうちにコツを掴んで綺麗に垂らすことができ頑張ったよかったです。お花の形は意識していなかったけれど、やっているうちにオシャレなお花になったので嬉しかったです。
6年2組	36	私の平面の題名は「あっちこっちへ行く流星群」です。これを題名にした理由は星が色々な

		所に行っているように見え、そこからもっと星を表現したいと思い、黄色い絵の具で星を表現しました。真ん中には少しだけ黒く塗りました。理由は、その中を違う世界への入り口にし、あっちこっちに行けるようにしました。右下と左上に円の四分の一のような形がパステルカラーで塗ってあるのは、存在しない惑星をイメージしています。
6年2組	37	僕が頑張ったことは3つあります。1つ目は、明るさを表現するために明るい色をたくさん使って明るさを表現しました。2つ目は、宇宙の色をつくるために、白いチョークと青の絵の具を混ぜて、表現したところです。3つ目は、白色をベースにすることにより、明るい色を目立つようにしました。